

大使館情報

2018年10月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（9月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（9月の出来事）

[内政]

- (1) ボルソナーロ大統領候補の襲撃事件
- (2) ルーラ元大統領の出馬辞退
- (3) 大統領選・世論調査結果（ボルソナーロ襲撃事件とルーラ出馬辞退の直後）
- (4) 大統領選・世論調査結果

[外政]

- (1) テメル大統領の一般討論演説
- (2) ベネズエラ関係
- (3) ブラジル・パラグアイ外相会合

3. トピックス

- (1) 平成30年春の叙勲伝達式の開催
- (2) 安保理改革に関するG4外相会合
- (3) セアラ州立大学（UECE）日本語講座25周年行事（在レシフェ総領事館）
- (4) 岩上ラウラ氏への外務大臣表彰（在レシフェ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（9月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、9月28日時点で、GDP成長率予測については、2018年は1.35%で先週から横ばい、2019年は2.50%で13週連続で据え置かれた。インフレ率については、2018年は4.30%で3週連続で上昇、2019年は4.20%で2週連続上昇した。

(イ) 7月の鉱工業生産指数は、前月比▲0.2%、前年同月比は+4.0%の増加となった。

(ウ) 7月の小売売上高は、前年同月比▲1.0%で15か月ぶりにマイナスを記録したほか、前月比▲0.5%となり、3か月連続でマイナスを記録した。

(エ) 全国の失業率（6～8月の移動平均）は12.1%となり、前回の公表値（5～7月の移動平均）から0.2%下落して5か月連続で改善した。

(オ) 8月の貿易収支は、輸出額は225.52億ドル（前年同月比+15.8%、前月比▲1.4%）、輸入額は187.77億ドル（前年同月比+35.3%、前月比+0.72%）で、差引き37.75億ドル（前年同月比▲32.5%、前月比▲10.7%）となり、42か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 8月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で▲0.09%となり、前月の0.33%から下落した。また、過去12か月累計では4.19%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) グアルジア財務大臣は、アルゼンチンやトルコの様に危機に陥っている新興国とブラジルの状況は違うと述べ、対外収支の健全性、潤沢な外貨準備高、及びブラジルがドル建ての外債を所有していないことを指摘。

(イ) 9月19日、グアルジア財務大臣は年金制度を中心に財政改革の必要性を再度アピール。市場開放の必要性も強調した。

(ウ) グアルジア財務大臣は、次期大統領に法人所得税減税と、PIS（社会統合基金）／Cofins（社会保険融資負担金）の改革を提案すると発言。

(3) 中銀の金融政策等

(ア) 9月18日及び19日に開催された金融政策委員会において、中銀は政策金利を年率6.50%に据え置くことを決定。金利据え置きは4会合連続となる。

(イ) 次回金融政策委員会は、10月29日及び30日に開催予定。市場関係者は概ね据え置きを予想している模様。

(4) 為替市場

(ア) 9月の為替レートは、前半は全般的にリアル安傾向で推移、後半はやや買い戻され、月末は1ドル=4.01から4.04リアルで推移。

(イ) 月の前半は、6日に大統領選挙候補者の中で支持率首位のボルソナーロ候補（PSL）が刃物で刺されたと報じられるとリアルが買い戻されるも、アダッジ候補（PT）の支持上昇により、リアル安傾向は変わらず、13日には8月30日以来の1ドル=4.207リアルを記録。

(ウ) 月の後半は、市場はボルソナーロ候補とアダッジ候補の決選投票を織り込んでいる模様で、

レアルは買い戻され、月末の終値は1ドル=4.0493レアルとなった。

(5) 株式市場

(ア) 9月のブラジルの株式相場 (Ibovespa指数) は、前半は横ばい、後半は上昇傾向。

(イ) 月の前半は、ボルソナーロ候補の刺傷事件の影響で、株式市場は前日比約2.0%の上昇を記録するも、アダッジ候補 (PT) の支持上昇により、全体的に横ばい。74,000~77,000のレンジで推移。

(ウ) 月の後半は、上昇傾向。13日の74,657ポイントから上昇を続け、27日には80,000ポイントを記録。市場はボルソナーロ候補とアダッジ候補の決選投票を織り込んでいる模様。

2. ブラジル政治情勢 (9月の出来事)

【内政】

(1) ボルソナーロ大統領候補の襲撃事件

9月6日、ミナスジェライス州ジュイス・デ・フォーラ市でキャンペーン中のボルソナーロ候補が暴徒に襲撃される。ナイフが内臓を深く傷付け、同候補は同市内病院に緊急搬送され、手術を受けた後、8日、サンパウロ市内のアルバート・アインシュタイン病院に移送された。同候補は9月29日に退院し、地元リオに戻った。

(2) ルーラ元大統領の出馬辞退

9月11日、PT (労働者党) は、ルーラ元大統領の代わりにアダッジ元サンパウロ市長を大統領候補とすることを決定。ルーラは、「ブラジル国民への手紙」と題する手紙を発表され、アダッジを自身の後継者として認めるとして、アダッジに投票して欲しいと支持者に語りかける内容。

(3) 大統領選・世論調査結果 (ボルソナーロ襲撃事件とルーラ出馬辞退の直後)

9月15日に発表されたデータ・フォーリャ世論調査 (9月13日~14日実施) は、ボルソナーロ 26% (前回9月10日: 24%)、シロ・ゴメス 13% (前回13%)、アダッジ 13% (前回9%)、アルキミン 9% (前回10%)、マリナ・シルヴァ 8% (前回11%) の結果に。ボルソナーロの支持率が更に上昇、アダッジの支持率急増が顕著に。

(4) 大統領選・世論調査結果

9月20日に発表されたデータ・フォーリャ世論調査 (9月18日~19日実施) は、ボルソナーロ 28%、アダッジ 16%、シロ・ゴメス 13%、アルキミン 9%、マリナ・シルヴァ 7%の結果。ボルソナーロの支持率が更に上昇、アダッジがこれを追い上げる形で支持率急増が継続。

【外政】

(1) テメル大統領の一般討論演説

9月25日、テメル大統領は第73回国連総会で一般討論演説を実施。今回が最後の一般討論演説となる旨述べ、テメル政権による実績を強調しつつ、伯はこれからも開放と統合の精神をもつ

て孤立主義と保護主義に対峙していくと発言。朝鮮半島問題について、伯は対話と連帯を重視する、非核化と平和を推進するための外交的解決を支持していると表明。

(2) ベネズエラ関係

(ア) 9月26日、リマ・グループを中心とする6か国（亜、コロンビア、チリ、パラグアイ、ペルー、加）が、ベネズエラにおける人道上の罪に対する捜査をI C Cに寄託。これに対して、伯は参加せず。

(イ) 9月28日、NY訪問中のヌネス伯外相はアレアサ・ベネズエラ外相と外相会談を実施。医療分野の協力や感染症に関する情報交換、国境を越える犯罪への対処、エネルギー分野の支払い等のバイの議題につき協議したと報じられる。

(3) ブラジル・パラグアイ外相会合

9月11日、カスティグリオニ・パラグアイ外務大臣が訪伯し、ヌネス伯外務大臣と外相会合。治安協力等のプロジェクトの開始を含むバイの主要アジェンダ、地域やマルチで相互利益をもたらす議題等につき協議。

3. トピックス

(1) 平成30年春の叙勲伝達式の開催

9月17日及び19日、在ブラジル日本国大使館大使公邸にて平成30年春の叙勲伝達式が開催された。

17日、ルイス・アワズ・ペレイラ・ダ・シルバ氏に対して旭日中綬章の勲記及び勲章の伝達が行われ、山田大使による挨拶及び同氏によるスピーチが行われた。伝達式後に行われた会食では、アワズ氏及び同氏関係者、さらに大使館館員参加の間で、なごやかな雰囲気の中、意見交換が行われた。

19日の伝達式では、タケシ・ミウラ氏に対して旭日双光章、ジュンイチ・ハヤカワ氏に対して旭日単光章のそれぞれの勲記・勲章伝達の後、山田大使による挨拶・各受章者によるスピーチが行われた（ハヤカワ氏についてはアカオカ氏（アレッシャンドレ・グスモン農村文化協会会長）代読）。式には各受章者関係者をはじめとする約60名が出席し、伝達式後、出席した受章者関係者・大使館館員は昼食をとりながら、共に懇談した。

※各受章者の主要経歴・功績については[こちら](#)を参照。

◎ 9月17日アワズ氏への叙勲伝達式及び会食



山田大使挨拶



アワズ氏挨拶



出席者での写真撮影



式典後の関係者との会食

◎ 9月19日ミウラ氏及びハヤカワ氏への叙勲伝達式



山田大使挨拶



ミウラ氏挨拶



ハヤカワ氏挨拶（アカオカ氏代読）



ミウラ氏及び関係者



ハヤカワ氏及び関係者



昼食の様子

（２）安保理改革に関するG 4 外相会合

9月25日（火曜日）、国連総会出席のためニューヨークを訪問中の河野外務大臣は、午後5時頃（現地時間）から約40分間、安保理改革に関するG 4（日本、ブラジル、ドイツ、インド）外相会合に出席した。会合の出席者及び議論のポイントは以下のとおり。

◎出席者

- ・日本：河野外務大臣
- ・ドイツ：マース外務大臣
- ・インド：スワラージ外務大臣
- ・ブラジル：ヌネス外務大臣

◎議論のポイント

1. 会合では、安保理改革に関する最近の進展を振り返り、安保理改革実現に向けた政治的決意を確認するとともに、今会期の政府間交渉（IGN）でテキスト・ベース交渉を開始することを含め、今後のG4の取組について意見交換を行った。
2. G4外相は、安保理の正統性、実効性及び代表性向上のため、常任・非常任議席双方の拡大を含む形での安保理の早期改革の必要性を再確認した。
3. また、G4外相は、（1）安保理が21世紀の現実を反映する必要がある、そのことが安保理の

正統性・信頼性の確保につながること、(2) 来年は、安保理改革が国連総会の議題となつてから 40 年目、さらに、現在行われている政府間交渉開始から 10 年目を迎える中、圧倒的多数の加盟国が安保理改革を支持しているにもかかわらず、いまだ実質的な進展が見られない状況の下で、前会期の政府間交渉において、これまでの取組の成果を取りまとめた文書が改訂されたことを評価し、今会期において進展を得るためにエスピノサ総会議長を支持すること、(3) G4 として、他の加盟国との対話を強化していく必要があり、この点、アフリカ共通ポジションがテキスト・ベース交渉に反映されることを支持すること等で一致し、安保理改革前進に向けた今後の取組に関する検討作業を各国の事務方に指示することで合意した。



・国連安保理改革に関する G4（日本、インド、ドイツ、ブラジル）外相会合共同プレスステートメント（[仮訳 \(PDF\)](#)   / [英文 \(PDF\)](#)  

(3) セアラ州立大学 (UECE) 日本語講座 25 周年行事 (在レシフェ総領事館)

9 月 19 日～21 日、セアラ州立大学において日本語講座 25 周年行事が行われ、丸橋在レシフェ総領事が出席した。

同行事は、主に日本語講座に参加している学生が中心となり作成したプログラムで、当館主催の広報文化事業として邦楽公演や講演等が実施され、多くの人達を魅了した。



9月19日 日本週間での海藤三味太鼓による邦楽公演及び和太鼓ワークショップ



9月20日 日本の歴史についての講演

9月21日 生け花ワークショップ

(4) 岩上ラウラ氏への外務大臣表彰（在レシフェ総領事館）

9月19日、フォルタレーザ市において、丸橋総領事から岩上氏への外務大臣表彰の授与を行った。

セアラ州立大学言語学教授の岩上氏は、1993年の同大学言語学センター内への日本語公開講座開設に大きく貢献し、以来25年にわたり日本語の普及及び日本文化の紹介に寄与してきた。

日本文化発信及び日伯両国の架け橋となる教え子達を数多く育ててきている。



セアラ州立大学日本語公開講座創立25周年記念「日本週間」オープニング式典において

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) セハードの悠久を憩う茶会

日時：10月12日（金）12:30～16:00

場所：セラミカ・ホンジョウ（ゴイアス州アナポリス市）

内容：セハードの大地の中で、立札、野点及び点心にて茶会が行われるほか、生け花展示や陶芸展示を実施する。

URL：<https://www.chadourasenke.org.br/noticias/chakai-no-cerrado-2018/>

(イ) 2018年ブラジリア映画祭

日時：10月17日（水）～22日（月）19:00～

場所：シネ・ブラジリア(Cine Brasília)

内容：現在及び昭和を代表する映画監督の作品「ヴィヨンの妻」、「ハッピーフライト」、「花のあと」、「ポップンQ」、「真夏の夜の夢」、「マメシバ」を上映する。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

2017年12月8日付で内容を改訂したので御確認下さい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで御確認下さい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html